

教科用図書第3採択地区調査委員会

(園画工作) 小委員会委員長

谷 口 光 伸



調査研究	1 審議経過の概要 (1) 審議の対象となった発行者名及び数 ・開隆堂、日本文教出版の2者 (2) 調査研究の手順 ・第1回調査委員会（6月26日）で2者の教科書を配布し、調査の観点や手順を協議した。 ・第2回調査委員会（7月15日、16日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式1について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ様式2、様式3を作成した。 (3) 調査研究のための観点、項目 ・取り扱い内容については、学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容に基づいて取り上げられているかという視点で調査し整理した。また、技能の習得、活用に対応できるような表現、鑑賞の内容、他教科と関連する内容、実生活・実社会に関する内容がどのように取り扱われているかという視点で調査し整理した。 ・内容の程度・排列・分量等については、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて系統的、発展的に組織されているかという視点で調査し整理した。 ・使用上の配慮等については、児童の学習意欲を高めるような工夫がなされているか、自ら題材に取り組み、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされているか、目次、索引、注、写真やイラストなど、使用上の便宜は図られているかという視点で調査し整理した。
全体を通じての特徴	2 審議経過の概要 (1)開隆堂については、巻頭の目次にその教科書に収められている全ての題材名、内容、使用する主な用具・材料を一覧表示するという特色があり、優れている。日本文教出版については、幼稚園・保育所や中学校との関連を考え、学習活動の内容に配慮した題材構成されているという特色があり、優れている。2者とも、わが国の伝統文化に関する内容や鑑賞作品を取り上げるという特色があり、優れている。 (2)このほか、開隆堂、日本文教出版については、題材数が豊富であることに加え、液体粘土などの新しい素材が扱われており、今後の評価方法にも留意が必要であるなどの話題も出されていた。

図画工作の目標等について
【教科の目標】 表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。
【学年・領域等の目標など】 [第 1 学年及び第 2 学年] (1) 進んで表したり見たりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。 (2) 造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。 (3) 身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取るようにする。 [第 3 学年及び第 4 学年] (1) 進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。 (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。 (3) 身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。 [第 5 学年及び第 6 学年] (1) 創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。 (2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。 (3) 親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にするようにする。

【参考】

- 図画工作科、美術科、芸術科（美術、工芸）については、その課題を踏まえ、創造することの楽しさを感じるとともに、思考・判断し、表現するなどの造形的な創造活動の基礎的な能力を育てること、生活の中の造形や美術の働き、美術文化に関心をもって、生涯にわたり主体的にかかわっていく態度をはぐくむことなどを重視する。
- このため、子どもの発達の段階に応じて、各学校段階の内容の連続性に配慮し、育成する資質や能力と学習内容との関連を明確にするとともに、小学校図画工作科、中学校美術科において領域や項目などを通して共通に働く資質や能力を整理し、〔共通事項〕として示す。
- 創造性をはぐくむ造形体験の充実を図りながら、形や色などによるコミュニケーションを通して、生活や社会と豊かにかかわる態度をはぐくみ、生活を美しく豊かにする造形や美術の働きを実感させるような指導を重視する。
- よさや美しさを鑑賞する喜びを味わうようにするとともに、感じ取る力や思考する力を一層豊かに育てるために、自分の思いを語り合ったり、自分の価値意識をもって批評し合ったりするなど、鑑賞の指導を重視する。
- 美術文化の継承と創造への関心を高めるために、作品などのよさや美しさを主体的に味わう活動や、我が国の美術や文化に関する指導を一層充実する。
- 標準授業時数

第 1 学年－ 6 8 単位時間	第 2 学年－ 7 0 単位時間
第 3 学年－ 6 0 単位時間	第 4 学年－ 6 0 単位時間
第 5 学年－ 5 0 単位時間	第 6 学年－ 5 0 単位時間

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	9・開隆堂	第1, 2学年 第3, 4学年 第5, 6学年	図工131, 図工132 図工331, 図工332 図工531, 図工532	ずがこうさく1・2上わくわくするね、ずがこうさく1・2下みんなおいでよ 図画工作3・4上 できたらいいな、図画工作3・4下 思いをこめて 図画工作5・6上 心をつないで、図画工作5・6下 ゆめを広げて
取扱 内容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 材料を基に造形遊びをする活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1, 2学年～ 木の草をちぎり、石を並べるなど、自然物を操作したり、紙パックなどをちぎってつなげたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。 第3, 4学年～ 身近な場所に新聞紙などをつないだり、自分たちの好きな場所をビニルシートやテープなどを使って囲んだりする活動を通して、進んで表現する態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。 第5, 6学年～ 身近な自然環境で枝や葉を用いて景色を変えたり、光や影の特徴を生かし、色などの美しさを味わったりする活動を通して、創造的に表現する態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。		
		○ 表したいことを絵や立体、工作に表す活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1, 2学年～ 空き箱を用いて、家や町をつくったり、インクをつけたローラーを転がしてできた形を基に絵を描いたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。 第3, 4学年～ 箱の中に思い付いた物語の世界を表したり、色づくりや筆使いなどを工夫して、気に入った木を描いたりする活動を通して、進んで表現する態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。 第5, 6学年～ 曲線切りした板を組み合わせてパズルをつくったり、墨の濃さを変えながら思いのままに描いたりする活動を通して、創造的に表現する態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。		
		○ 作品などを鑑賞する活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1, 2学年～ 型押しやこすり出しなどでつくった互いの作品を見たり、カッターナイフで紙の切り方を工夫してつくったタワーの色や形のよさを見つけたりする活動を通して、面白さや楽しさを感じ取る。 第3, 4学年～ 身近にある材料のさわり心地の違いを見つけ、友達と交流したり、造形カードを作成して、互いのイメージや感じ方の違いを味わったりする活動を通して、よさや面白さを感じ取る。 第5, 6学年～ 擬態の動物をつくって身近な場所に飾り、その場所の特徴を話し合ったり、美術作品を見て、グループで見つけたことや想像したことを発表したりする活動を通して、よさや美しさを感じ取る。		
		○ 〔共通事項〕については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1, 2学年～ 好きな形に目や手足を付けてマークをつくったり、いろいろな色と形のものを集め、並べ方を工夫して飾りをつくったりする活動を通して、形や色などを基に、自分のイメージをもつ。 第3, 4学年～ 絵の具を練り込んだ紙粘土で楽しい形の生活に使えるものをつくったり、絵の具を混ぜて同じ仲間の色を分類してイメージを広げたりする活動を通して、形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ。 第5, 6学年～ 色と形を工夫して自分のマークを作成し、重ねたり、接写した写真の色や形からイメージを膨らませたりする活動を通して、形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。		

	○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1, 2学年～ はさみやのりを使って紙を切る、貼るなどして教室を飾る物をつくったり、クレヨンやパスで着色した部分をこすり、ぼかしの効果を生かした絵を描いたりするなど、技能を活用する活動 第3, 4学年～ 水彩絵の具のパレットや水加減について学習し、いろいろな線を描いたり、のこぎりを使って角材を切り、釘を打って木片を組み合わせたなど、技能を活用する活動 第5, 6学年～ 液体粘土と布でできた凹凸のある画面に楽しい絵を描いたり、これまでに経験したいろいろな方法を使ってスチレンボードへの版の表し方を工夫したりするなど、技能を活用する活動
内容の構成・排列、分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1, 2学年～ 型押しとこすり出し、土や砂の造形遊びと色水の造形遊びなど、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫 第3, 4学年～ 光と影の飾りづくりや牛乳パックなどの様々な材料の工作、板や紙など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫 第5, 6学年～ アルミ針金や紙バンドなどの線材、組み木パズルと動くおもちゃなど、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。(※ 判型をA4判に変更) 第1, 2学年～ 「材料を基に造形遊びをする活動」が10ページ、「表したいことを絵や立体、工作に表す活動」が63ページ、作品などを鑑賞する活動が24ページであり、総ページは90ページで、前回より約5パーセント増となっている。 第3, 4学年～ 「材料を基に造形遊びをする活動」が7ページ、「表したいことを絵や立体、工作に表す活動」が63ページ、作品などを鑑賞する活動が16ページであり、総ページは90ページで、前回より約5パーセント増となっている。 第5, 6学年～ 「材料を基に造形遊びをする活動」が5ページ、「表したいことを絵や立体、工作に表す活動」が67ページ、作品などを鑑賞する活動が19ページであり、総ページは94ページで、前回より約9パーセント増となっている。
使用上の配慮等	○ 各巻の巻頭に「小さな美術館」と「ゆめをかたちに」を設け、児童の興味・関心に合わせた作品を掲載したり（全学年）、作家の作品とメッセージを掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 安全、後片付け、必要な知識・技能や材料など周知させたい基礎的・基本的な内容を示したり（全学年）、授業の振り返りを囲みで示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 巻末に、造形活動に必要な知識や技法、道具の使い方などを示した「道具箱（どうぐばこ）・パレットコーナー」（全学年）や、題材ごとに培いたい力を示すマーク（全学年）を掲載したり、紙面全体の配色や写真の配置を工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	

様式 3

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	116・日文	第1, 2学年 第3, 4学年 第5, 6学年	図工133, 図工134 図工333, 図工334 図工533, 図工534	ずがこうさく 1・2上のいいな おもしろいな, ずがこうさく1・2下のいいな おもしろいな 図画工作3・4上 見つけたよ ためたよ, 図画工作3・4下 見つけたよ ためたよ 図画工作5・6上 見つめて 広げて, 図画工作5・6下 見つめて 広げて
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 材料を基に造形遊びをする活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1, 2学年～ 砂を型に取って並べ、土の塊を積んだり、紙を切って長くつなぎ、上からつるしたりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。 第3, 4学年～ 身近な場所で雪やプラスチック容器などの自然や人工の材料を用いて構成したり、自分の好きな場所を多様な材料で変身させたりする活動を通して、進んで表現する態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。 第5, 6学年～ 身近な場所の特徴を生かして空間を変身させたり、風や水の動きとその効果を考えて美しい空間を構成したりする活動を通して、創造的に表現する態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。 ○ 表したいことを絵や立体、工作に表す活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1, 2学年～ 生活の中で思い出に残っていることを絵に描いたり、お話や仕組みを考えてすごろくなどの楽しく遊べるものをつくったりする活動を通して、進んで表す態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。 第3, 4学年～ 金づちを使って釘を打ち、楽しいものをつくったり、心に残った出来事をそのときの気持ちが伝わるように描いたりする活動を通して、進んで表現する態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。 第5, 6学年～ 心に残っている場所や出来事を描いたり、板材の特徴を生かして生活の中で使えるものをつくったりする活動を通して、創造的に表現する態度を身に付け、つくり出す喜びを味わう。 ○ 作品などを鑑賞する活動については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 第1, 2学年～ 身近なものの感触を確かめ、凹凸を粘土で写し取ったり、お気に入りのきれいなものなどを並べて飾ったりする活動を通して、面白さを感じ取る。 第3, 4学年～ お気に入りの場所に自分の写真を飾って見ることで、その場所のよさを見つけたり、美術作品の人物の動作を真似て感じたことを友達と交流したりする活動を通して、よさや面白さを感じ取る。 第5, 6学年～ 美術作品やいろいろな模様をカードにして友達と話し合ったり、日本の伝統的な美術に触れて、生活を豊かにする工夫を味わったりする活動を通して、よさや美しさを感じ取る。 ○ 〔共通事項〕については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1, 2学年～ 紙を切る、ちぎるなどして生まれた形を基に思い付いて描いたり、カラーフィルムなどを透過させ楽しい形や色の光を地面などに映したりする活動を通して、形や色などを基に、自分のイメージをもつ。 第3, 4学年～ 一筆で描いた線の形の面白さを生かし、自分の好きな色をつかって塗ったり、光にいろいろなものを当てて影を映し、楽しい影の形に表したりする活動を通して、形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ。 第5, 6学年～ 自分の気持ちを表す形を見つけ、感じたことを表現したり、液体粘土で布を瞬間的に固めた形から想像を広げて表したりする活動を通して、形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。			

	○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1, 2学年～ 紙の切り方を工夫した楽しい飾りをつくって教室を飾ったり、切った紙の形を基に紙の置き方を考えて台紙に貼り、絵に表したりするなど、技能を活用する活動 第3, 4学年～ 折る、まるめるなどして立たせた紙の形を生かしてその紙に絵を描いたり、木切れや板をのこぎりで切っているいろいろなものをつくったりするなど、技能を活用する活動 第5, 6学年～ 割りピンで動く絵を少しずつ動かしてデジタルカメラで撮影し、アニメーションをつくったり、絵を描いて開いた傘の形や色を生かし、空間を飾ったりするなど、技能を活用する活動
内容の構成・排列、分量等	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1, 2学年～ 土と粘土、紙版画と型紙で写すなど、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫 第3, 4学年～ ボール紙と段ボール、透明シートと新聞紙など、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫 第5, 6学年～ ビー玉の迷路とパズル、紙バンドと毛糸、布テープなど、材料や方法などについて、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成し、発展的に学習できるような工夫 ○ 内容の分量については、次のようになっている。 第1, 2学年～ 「材料を基に造形遊びをする活動」が16ページ、「表したいことを絵や立体、工作に表す活動」が72ページ、作品などを鑑賞する活動が24ページであり、総ページは114ページで、前回より約33パーセント増となっている。 第3, 4学年～ 「材料を基に造形遊びをする活動」が16ページ、「表したいことを絵や立体、工作に表す活動」が72ページ、作品などを鑑賞する活動が28ページであり、総ページは114ページで、前回より約33パーセント増となっている。 第5, 6学年～ 「材料を基に造形遊びをする活動」が8ページ、「表したいことを絵や立体、工作に表す活動」が68ページ、作品などを鑑賞する活動が36ページであり、総ページは114ページで、前回より約33パーセント増となっている。
使用上の配慮等	○ 生活の中にある形や色のよさや美しさを味わう「ぞうけいのもり」を掲載したり（全学年）、児童が自由にイメージを広げる「図画工作の広がり」を掲載したり（3, 4年、5, 6年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 児童が発想や鑑賞する際の視点を吹き出しなどで表したり（全学年）、表現の工夫や、振り返りを示す囲みを掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 巻末に、授業で扱う材料や用具について説明する「使ってみよう材料と用具（つかってみようざいりょうとようぐ）」（全学年）や、各題材のページ横に使用する主な用具を示すマーク（全学年）を掲載したり、紙面のデザインや文字の色を工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	